

第8回「洋酒技術研究会賞」を受賞

～「ガラスびん開発の歴史および

機能とデザインを融合させた国産ウイスキー向け容器の開発」において～

キリンホールディングス株式会社パッケージイノベーション研究所（所長 石田英克）は、ガラスびん開発の歴史および機能とデザインを融合させた国産ウイスキー向け容器開発が評価され、「洋酒技術研究会賞」を受賞しました。

キリングroupでは長年環境に配慮した容器包装を開発しており、3R（Reduce、Reuse、Recycle）を推進することで社会に貢献しています。特に、中味の品質を保持する容器の基本性能や、お客様が利用される際の使いやすさ、また、輸送効率・生産適性などを損なわない容器の軽量化など、機能的価値を最大化しています。

また、ガラスびんの持つ美しさや重厚感、高級感という利点を活用した、情緒的価値を引き出す技術開発にも力を入れています。中でもジャパニーズウイスキーブランドでは、ウイスキーの価値をより高めるため、視覚に訴える加飾技術の開発に力を入れてきました。今回、この技術開発と、それに至ったこれまでの経緯が評価され、「洋酒技術研究会賞」を受賞しました。

2005年に発売した「富士山麓」では、ガラスびんの底部に厚みを持たせた成形技術を活用し、「富士山麓」のブランドイメージを形成しました。さらには、ガラスびんの厚底部分をガラスびん成形と同時に加飾する技術を確立し、この技術を取り入れた2016年発売の「富士山麓ブレンデッド18年」は、グッドデザイン賞を受賞しました。

また、4月21日（火）より全国の飲食店で発売した「キリン シングルグレーンウイスキー 富士」は、当技術を活用しながら意匠性を向上し、びん底の富士山で日本らしさを表現しました。

今後も、ジャパニーズウイスキーの世界的発展を目指し、中味も外観も日本の最高品質であり続けるため、意匠性や品質向上の観点で、お客様に楽しんでいただける新しい取り組みを継続していきます。

●受賞概要

1. 受賞研究 「ガラスびん開発および機能とデザインを融合させた国産ウイスキー向け容器の開発」
2. 研究会名 「洋酒技術研究会」
3. 受賞日 2020年5月13日（水）
4. 受賞・発表者名 キリンホールディングス株式会社 R&D 本部 パッケージイノベーション研究所 柳田典子

●「洋酒技術研究会」と「洋酒技術研究会賞」について

・「洋酒技術研究会」は、国産洋酒の品質向上を目的に、洋酒製造に関する技術情報、食の安全性・法制度・環境問題など、幅広い分野についてタイムリーに情報提供を行っています。

・「洋酒技術研究会賞」は、原則として、①研究・技術開発、②製品開発、③環境対応・品質管理、④報文・講演などの情報発信の中から日本の洋酒業界の発展に大きく貢献のあった者に対して、選考・授与されるものです。



キリングroupは、自然と人を見つめるものづくりで、「食と健康」の新たなよろこびを広げ、こころ豊かな社会の実現に貢献します。